

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月12日

【四半期会計期間】 第56期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店
(大阪府大阪市北区中之島3丁目2番18号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第3四半期 連結累計期間	第56期 第3四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	12,110,829	5,467,725	16,765,720
経常利益 (千円)	2,050,211	607,648	2,605,662
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,327,951	691,893	1,242,595
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,332,123	677,503	1,246,894
純資産額 (千円)	9,081,234	9,410,254	8,996,005
総資産額 (千円)	15,675,772	12,314,841	14,569,779
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	152.02	79.61	142.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	57.9	76.4	61.7

回次	第55期 第3四半期 連結会計期間	第56期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	51.39	37.27

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社企業グループが判断したものであります。

なお、新型コロナウイルス感染症が建設業界に本格的に影響を与える時期は、飲食やインバウンド関連に比べて数年遅くなることが予想されており、現時点では当社の業績にはさほど影響を与えておりません。しかし、長期的には景気の低迷が建設需要を下押しすることはほぼ確実と認識しております。また、東京五輪が1年延期されたことで、五輪後に計画されていたプロジェクトの始動が遅れる可能性があること、テレワーク普及に伴いオフィスビル需要の低下の可能性があることが懸念されております。これらはカーテンウォール業界、プール業界双方にマイナスの影響があることが予想されております。

マイナス要因は多々ありますが、安定した財務基盤のある当社は、従来と変わらず着実に人員強化を進め、景気が再び浮揚する際は、顧客からのリクエストにさらに幅広く対応できるような態勢をつくれるように努力を重ねる所存であります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における日本の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、大幅に下押しされており厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部の回復の兆しがみられましたが、依然として感染拡大の懸念があり今後とも内外経済の動向は先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、さまざまな業種で、仕事量が減少してきました。PCカーテンウォール業界においても、昨年からの受注量、生産量ともに低迷が続いておりますが、当社におきましては、当第3四半期はやや生産量が回復してきており、工場稼働率が上がってきています。

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブに加え、PCカーテンウォール事業で関わった都市型高級ホテルのプール等の工事拡大を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社企業グループの業績は売上高は54億67百万円(前年同四半期比54.9%減)、営業利益5億63百万円(前年同四半期比71.6%減)、経常利益6億7百万円(前年同四半期比70.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億91百万円(前年同四半期比47.9%減)となりました。なお、受注高は63億72百万円(前年同四半期比8.8%増)、受注残高は121億11百万円(前連結会計年度末比8.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

PCカーテンウォール事業

昨年からの受注量、生産量ともに低迷が続いており、比例して売上が大幅に落ち込みました。一方、顧客の製品形状変更、追加依頼などに真摯に対応して、追加売上を獲得し、また工場を中心に懸命のコストダウンを図り、収益を確保しています。当セグメントの売上高は50億円(前年同四半期比57.5%減)、セグメント利益は5億30百万円(前年同四半期比73.3%減)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

アクア事業

学校関連、フィットネスクラブ及びホテルのプールの新設・改修が順調に進んだため、当セグメントの売上高は4億16百万円(前年同四半期比37.9%増)、セグメント利益は33百万円(前年同四半期比110.9%増)となりました。

その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

当セグメントの売上高は50百万円(前年同四半期比23.6%増)、セグメント損失は0百万円(前年同四半期は16百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態の状況

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は123億14百万円と前連結会計年度末と比較して22億54百万円の減少となりました。これは主に、現金預金が10億38百万円、電子記録債権が10億5百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は29億4百万円と前連結会計年度末と比較して26億69百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が8億80百万円、流動負債のその他が5億9百万円、長期借入金が1億88百万円、役員退職慰労引当金が6億73百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は94億10百万円と前連結会計年度末と比較して4億14百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により6億91百万円増加したことと、配当金の支払いにより2億17百万円減少したことにより4億74百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月30日		9,553,011		100,000		

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 872,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,676,100	86,761	
単元未満株式	普通株式 4,811		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		86,761	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式15株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 本町1丁目5番4号	872,100		872,100	9.12
計		872,100		872,100	9.12

(注)当社は、2020年3月27日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期会計期間において、自己株式を45,700株取得いたしました。

この結果、当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は917,815株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,946,595	1,907,920
受取手形・完成工事未収入金等	1,491,222	913,162
電子記録債権	1,696,136	691,120
未成工事支出金	3,055,588	3,379,884
その他のたな卸資産	70,640	68,412
その他	59,881	71,146
流動資産合計	9,320,065	7,031,646
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	653,439	649,471
土地	1,783,101	1,783,101
その他(純額)	644,301	601,948
有形固定資産合計	3,080,842	3,034,521
無形固定資産	42,078	37,104
投資その他の資産		
投資有価証券	222,552	201,874
保険積立金	949,176	1,022,565
投資不動産(純額)	118,624	91,349
退職給付に係る資産	114,016	107,662
その他	738,990	804,683
貸倒引当金	16,567	16,567
投資その他の資産合計	2,126,792	2,211,568
固定資産合計	5,249,713	5,283,194
資産合計	14,569,779	12,314,841
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	466,576	438,737
電子記録債務	368,532	290,821
短期借入金	667,000	547,000
1年内償還予定の社債	60,000	-
未払法人税等	883,174	2,226
未成工事受入金	779,921	661,722
賞与引当金	53,044	116,535
その他の引当金	92,360	17,530
その他	620,312	110,662
流動負債合計	3,990,921	2,185,234
固定負債		
長期借入金	630,000	442,000
役員退職慰労引当金	869,525	195,993
その他	83,326	81,358
固定負債合計	1,582,851	719,351
負債合計	5,573,773	2,904,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	5,803,679	6,277,736
自己株式	238,430	283,848
株主資本合計	8,948,612	9,377,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,393	33,003
その他の包括利益累計額合計	47,393	33,003
純資産合計	8,996,005	9,410,254
負債純資産合計	14,569,779	12,314,841

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高		
完成工事高	12,110,829	5,467,725
売上原価		
完成工事原価	9,554,653	4,307,441
売上総利益		
完成工事総利益	2,556,175	1,160,283
販売費及び一般管理費	571,712	596,415
営業利益	1,984,463	563,867
営業外収益		
受取利息	339	334
受取配当金	1,948	12,777
投資有価証券売却益	6,651	-
投資不動産賃貸料	4,463	9,384
受取家賃	10,281	8,644
鉄屑売却収入	37,028	17,140
その他	16,910	7,781
営業外収益合計	77,622	56,063
営業外費用		
支払利息	6,588	5,259
不動産賃貸費用	2,187	4,827
その他	3,097	2,195
営業外費用合計	11,873	12,282
経常利益	2,050,211	607,648
特別利益		
固定資産売却益	799	1,771
移転補償金	-	35,642
特別利益合計	799	37,413
特別損失		
固定資産除却損	1,847	9,479
特別損失合計	1,847	9,479
税金等調整前四半期純利益	2,049,164	635,582
法人税、住民税及び事業税	813,229	5,560
法人税等調整額	92,017	61,871
法人税等合計	721,212	56,310
四半期純利益	1,327,951	691,893
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,327,951	691,893

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,327,951	691,893
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4,171	14,390
その他の包括利益合計	4,171	14,390
四半期包括利益	1,332,123	677,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,332,123	677,503

【注記事項】

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間
(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社企業グループは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについては、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症拡大が当社企業グループの業績に与える影響は軽微であり、当第3四半期以降も重要な影響がないという仮定に基づき会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、今後の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	196,413千円	197,017千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	87,351	10.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金
2019年7月25日 取締役会	普通株式	131,027	15.00	2019年6月30日	2019年9月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	131,027	15.00	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金
2020年7月30日 取締役会	普通株式	86,808	10.00	2020年6月30日	2020年9月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,767,892	301,798	12,069,690	41,138	12,110,829		12,110,829
セグメント間の内部売上高又は振替高							
計	11,767,892	301,798	12,069,690	41,138	12,110,829		12,110,829
セグメント利益又はセグメント損失()	1,984,766	16,012	2,000,779	16,316	1,984,463		1,984,463

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,000,692	416,165	5,416,857	50,867	5,467,725		5,467,725
セグメント間の内部売上高又は振替高							
計	5,000,692	416,165	5,416,857	50,867	5,467,725		5,467,725
セグメント利益又はセグメント損失()	530,265	33,763	564,028	161	563,867		563,867

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益	152円02銭	79円61銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,327,951	691,893
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	1,327,951	691,893
普通株式の期中平均株式数(株)	8,735,197	8,690,802

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第56期(2020年1月1日から2020年12月31日まで)中間配当について、2020年7月30日開催の取締役会において、2020年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	86,808千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年9月7日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月11日

高橋カーテンウォール工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 勉 印

業務執行社員 公認会計士 山 田 英 二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。